

福祉サービス第三者評価結果（総括表）

①第三者評価機関名

一般社団法人いばらき社会福祉サポート

②施設・事業所情報

名称： ユーカリの里	種別： 障害者支援施設
代表者氏名： 伊藤友子	定員（利用人数）： 50名
所在地： 茨城県鉾田市上太田465-1	
TEL： 0291-37-1037	ホームページ： http://WWW.yuuseikai.jp
【施設・事業所の概要】	
開設年月日 平成2年4月1日	
経営法人・設置法人（法人名等）： 社会福祉法人 勇成会	
職員数	常勤職員： 41 名 非常勤職員： 7 名
専門職員	社会福祉士 4 名 介護福祉士 24 名
	看護師・准看護師 各2 名 精神保健福祉士 2 名
	管理栄養士 2名
施設・設備の概要	（居室）24室（1人部屋×2、2人部屋×18、4人部屋×4）入所定員50、ショートステイ4 食堂・集会室 178.6㎡ 浴室（2） 30㎡×2
	居室面積 439.79㎡ 脱衣室 15㎡

③理念・基本方針

（理念）一人ひとりの人生を価値あるものにしたい

（基本方針）

- ・法令・規則等を遵守し社会規範に則した誠実かつ公正で透明性の高い活動を遂行します。
- ・個々のニーズを的確に把握し、利用者の個性、自己選択及び自己決定を尊重し、個別支援計画、栄養ケア計画、リハビリ計画の実施に努めます。
- ・本人の意向を踏まえたサービス提供（同性介助）に努めます。
- ・利用者ひとりひとりの人生を価値あるものにするため学習の機会を設け、職員のスキルアップを図ります。
- ・環境に配慮した事業運営に努め、社会貢献活動を推進します。
- ・感染症や自然災害への備えの充実を図ります。
- ・多様な人材確保のため、働きやすい環境づくりを推進します。

④施設・事業所の特徴的な取組

令和6年度、ユーカリの里は創立34周年を迎えるにあたり、更なるサービスの質の向上を図るため、第三者評価などの外部評価を取り入れることにしました。

また、銚田市の地域生活支援拠点として「鹿行エリアの地域福祉向上」に尽力していきたいと考えています。

令和6年度は3年に1度の報酬改定の年であり各サービスの報酬・基準に係る見直しが行われました。この報酬改定に則り、基本方針に「本人の同意を踏まえたサービス提供（同性介助）に努めます」・「多様な人材確保のため、働きやすい環境づくりを推進します」の2項目を追加しました。今年度、この2項目を重点課題とし、利用者も職員も自分らしく過ごせる生活の場づくり・職場環境づくりに努めています。

リハビリ担当職員は、障害福祉サービス事業等の指定基準以上に専門職を配置しています。勇成会の事業所ではユーカリの里のみ、理学療法士のほか、作業療法士、言語聴覚士、あん摩マッサージ指圧師を配置し、利用者個々の障害特性に合わせたリハビリプログラムを継続して提供しています。

利用者は障害の重度化・高齢化により、遠方への外出が難しくなってきました。そのため、「日々の暮らしの中で自室以外の場所で過ごす機会を設け、施設内を散策するなど、季節感を味わうことや、五感の刺激によるリラックス効果が得られる」支援プログラムを追加しました。

⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	令和6年7月1日（契約日）～ 令和7年2月20日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	0 回

⑥総評

◇特に評価の高い点

- ・ 法人の運営状況は外部の専門職への依頼などにより透明性の高い運営を心掛けています。
- ・ 「ひとりひとりの人生を価値あるものにしたい」との法人理念に基づき、利用者のみならず職員のワークライフバランスに配慮した取り組みは高く評価できます。
- ・ 個別の目標管理と評価が行われています。人事考課制度が機能しており、職位や給与への反映もされています。
- ・ また、研修の種類の充実や、資格取得の支援、新人職員へ詳しいチェック表を使用して丁寧な指導をするなど職員育成にも努めています。
- ・ 利用者のサービス場面においては移乗用のリフトが多数配置されており、利用者、職員双方にとっての安心安全につながっています。

◇改善を求められる点

- ・ 中長期ビジョンは法人の理念の実現に向けた目標として策定されていますが、経営課題や改善すべき問題点等を明記するまでには至っていません。数値目標等を取り入れた具体的な計画を策定することを期待します。
- ・ 質の向上に向けてオンデマンド研修を取り入れるなど新しい取り組みにチャレンジしていますが、第三者評価を受審したことを機に PDCA サイクルに基づいて計画と評価を一体として改善を重ねることを期待します。
- ・ 地域との交流については、コロナ禍以降減少した状態が続いていますが、保育園児の訪問を受けたり、プライベート支援で外に出かけるなど、少しずつ再開されている状況があります。地域の中核施設としての活動の継続と拡充を期待します。

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

【感想】

ユーカリの里では、自己評価を年1回行い、施設の強み・弱みを把握する取り組みを行っています。分析結果では、「4 地域との交流、地域貢献」に課題があることが把握できています。しかし、コロナ禍でもあり、課題解決に向けた取り組みはほとんど着手することができませんでした。

今回、初めて第三者評価を受審し、分析結果に基づいた課題が明確になりました。

当施設の課題は、やはり「４地域との交流、地域貢献」にあることがわかりました。

また、職員の自己評価結果および利用者等調査結果で評価が低い項目や無回答の項目に着目し、職員・利用者または家族の理解を深めるための工夫をしていく必要性を感じました。

今後は、「第４期銚田市地域福祉計画」・「第４次銚田市地域福祉活動計画」等を参考にし、「地域との交流、地域貢献」を何から始めるか検討し、実現に向けて取り組んでいきたいと考えています。

【今後の取組み等】

職 員…今以上に施設運営の理解が深まるような研修等の機会をつくる・管理者か

らのメッセージの発信の工夫（継続）

利用者…外出や施設内行事に家族と交流できる場の提供（再開）

地 域…ボランティア・保育園児・小学生との交流（再開）

実習生の受入・地域主催のイベントへの参加・保育園・小学校の運動会

へ

の参加・花いっぱいコンクールへの参加（継続）

利用者と地域に出向き交流を深める（仲良くなる）取組み（新規）

小学生を対象としたユーカリの里探検イベントの開催（新規）

マルシェ・福祉機器体験等の開催（新規）

SNS の活用（新規）

※新規事業は３～５年後の実現を目指す

※今後の取組み等は（素案）の段階であることを申し添えます。

評価細目の第三者評価結果（個票）

※評価細目について、判断基準に基づいた評価結果を表示する。

※評価細目毎に第三者評価機関の判定理由等のコメントを記述する。

評価対象Ⅰ 福祉サービスの基本方針と組織

Ⅰ-1 理念・基本方針

Ⅰ-1-(1) 理念，基本方針が確立・周知されている。		
評 価 細 目	評価結果	コ メ ン ト
Ⅰ-1-(1) ① 法人や施設（事業所）の理念が明文 化されている。	a b c	

Ⅰ-2 経営状況の把握

Ⅰ-2-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。		
評 価 細 目	評価結果	コ メ ン ト
Ⅰ-2-(1) ① 事業経営を取り巻く環境と経営状 況が的確に把握・分析されている。	a b c	
Ⅰ-2-(1) ② 経営課題を明確にし，具体的な取り 組みを進めている。	a b c	

～以下，評価基準に沿って評価細目毎に公表